

令和4年度の活動方針（案）について

1 課題

- 共通 コロナ禍でも安心しておでかけできる公共交通となるよう、地域、事業者及び行政が連携して、地域の多様な輸送資源を総動員した地域公共交通ネットワークを構築すること
- 明知鉄道 安全、安定輸送の確保と観光利用の促進等を活用した収入確保による安定的な経営基盤の確立
- 自主運行バス 誰もが利用しやすいサービス提供ができる路線にすること

2 活動方針

事業名	内 容 等	
明知鉄道沿線地域公共交通計画の推進		
【目標1】 公共交通を「支える」「活用する」地域住民の活動促進	1. 公共交通を「活用」する市民の意識づくり	1. 観光列車やイベントでの市民による活動 ・モデル地域の取組みを踏まえた沿線全体への取り組み方法の検討 2. 地域イベントと連携した公共交通の活用 ・イベントについて地域・事業者と連携を協議 3. SLの復元を通じた地域づくり ・SL乗車等体験、SLファンクラブ拡大策実施 4. 待合時間を有効活用できる結節点 ・地域・高校生へのニーズ調査、実施内容の検討 ・候補施設の選定
	2. 公共交通を「支える」市民の活動促進	1. 明知鉄道が有するさまざまな価値の発信 ・料理列車などの様々な取組み状況を地域に周知 2. 沿線環境の整備 ・地域住民による沿線環境（景観）整備・植樹（継続） ・明知鉄道連絡協議会による沿線景観整備（継続） 3. 収入源の拡大 ・グリーン会員証の販売促進 4. モビリティマネジメントの推進 ・3K（高齢者、高校生、観光客）サポートの推進 ・ふれあい列車運行、高校生ミーティング開催、高齢者団体への利用促進PR、バス時刻路線マップ作成 ・シンポジウムの開催
【目標2】 持続可能な地域公共交通ネットワークの形成	1. 地域全体の総合的な公共交通ネットワークの形成	1. 恵那駅周辺での循環線の新設 ・まちなか循環線の運行 2. 幹線と地域路線の見直し ・基幹路線と幹線の一本化に向けた検討 ・「地域内フィーダー系統確保維持計画」に基づく事業の実施（上矢作地区のバス路線の運行とフォローアップ調査）

		3. 明知鉄道の1時間1本化 ・ 準パターンダイヤ運行の効果検証
	2. 快適な公共交通利用環境の整備	1. 施設の更新 ・ 鉄道安全輸送設備等整備事業に基づく施設の更新等 ・ 適切なバス車両の更新 2. P & R、サイクルトレインの推進 ・ 駅駐車場PR・サイクルトレイン拡大検討 ・ チャリンコ列車運行 3. 鉄道・バス共通1日乗車券の販売 ・ 事業者間調整、販売
	3. 関係者との連携強化	1. 恵那峡線・大井町東線・大井町西線・明智線の改善・利用促進 ・ 日帰り旅コースの設置、利用促進PR ・ 関係自治体との利用者減少対応策の検討 2. 隣接自治体との関係強化・組織間ネットワークの充実 ・ 隣接自治体の地域公共交通会議での協議
【目標3】 域外から来た人や高齢者が抵抗なく自然に移動できる環境の整備	1. 当地域に適したMaasの実現	1. 運賃のキャッシュレス化 2. 人とアプリによる「交通コンシェルジュ」 ・ 案内窓口の設置 ・ システム開発 3. 日帰り旅コースの設置・運用 ・ モデルコースの検討・運行 4. 定額制乗り放題運賃・年間パスポート ・ 運賃部会での検討 5. モードを跨いだ運賃設定 ・ 事業者の意向確認 ・ 運賃部会での検討 6. 移動データの取得 ・ システム開発
	2. バリアフリー化を通じたサービスアップ（現状維持から発展へ）	1. 駅舎などのバリアフリー化 ・ バリアフリー化に向けた調査・改修 2. ボランティア車掌の創設 ・ 車掌創設に向けた検討・募集 3. 外国語案内・バス系統番号の表示 ・ バス系統番号の表示設定
	3. 観光列車の推進	1. 観光列車と広報・周知の充実 ・ 料理列車運行、ウォーキングイベントとの連携開催、商談会への参加、PRチラシ・ポスター作成、ラッピング列車運行 2. 観光列車やイベントでの市民による活動